

いのちについて考える



いのちって大切なのだろうか？

なぜ大切なのだろうか？

いのちについて考えるのは難しいけど、本を読んだら大切なことがわかってくるかも！

いのちの食べかた よりみちパン！セ

森 達也／著 イースト・プレス [648 円]

カレーや肉じゃがに入っている肉はもともとは生きていた牛や豚。

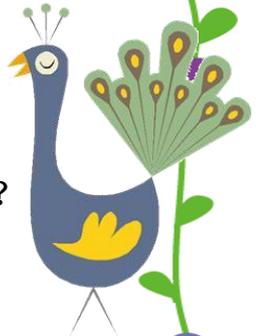
その牛や豚がどうやって肉になってスーパーに並ぶか知っている？私たちが食べているのは、“いのち”だった！

カラフル

森 絵都／作 理論社 [913 円]

大きなあやまちを犯して死んだぼくが抽選に当たった！

前世のぼくが生きていた世界(下界)で再挑戦をはじめただけど、ぼくのあやまちっていったい、何？



マタギに育てられたクマ

金治 直美／文 佼成出版社 [489 円]

東北地方で狩りをする人をマタギという。

今までに 65 頭以上のツキノワグマを撃ってきたマタギが、クマを育てることになった。

なぜマタギはクマを育てたのだろうか？マタギってどういう人たちなんだろう？



＊ほかにもたくさん＊

いのちはなぜ大切なのか ちくまプリマー新書067

小澤 竹俊／著 筑摩書房 [159 円]

看護師の仕事につきたい！ 命を救う看護のプロフェッショナル 教えて、先輩！私の職業シリーズ4

坂本 すが／著 中経出版 [498 円]

ボクたちに殺されるいのち 14歳の世渡り術

小林 照幸／著 河出書房新社 [645 円]

夏の庭—The Friends—

湯本 香樹実／作 徳間書店 [913 円]



※【 】内は、請求番号（本の背ラベルの記号）です。